

# 屋外広告物の規制と活用に向けた 検討について（諮問）

## 1 東京都屋外広告物条例

- 美観風致の維持及び公衆に対する危害を防止することを目的とする屋外広告物法の成立を受け、昭和24年に制定

### 【法の目的（屋外広告物法第1条）】

- 良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、又は公衆に対する危害を防止するために、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置並びにこれらの維持並びに屋外広告業について、必要な規制の基準を定めることを目的とする。

### 【条例の目的（東京都屋外広告物条例第1条）】

- 屋外広告物及び屋外広告業について、屋外広告物法の規定に基づく規制、都民の創意による自主的な規制その他の必要な事項を定め、もつて良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、又は公衆に対する危害を防止することを目的とする。

## 1 東京都屋外広告物条例

### 【国交省の屋外広告物法・屋外広告物条例ガイドラインと東京都屋外広告物条例との関係】

#### 屋外広告物法（昭和24年）

- ・ 広告物規制は都道府県の事務
- ・ 過去、大きな改正は4回  
（代執行、簡易除却、業届出、業登録）
- ・ **法は条例の基準を示すもの**  
＜例＞条例で屋外広告物の表示等を禁止することができる。（第3条）

#### 屋外広告物条例ガイドライン（平成16年）

- ・ 当初は、屋外広告物規制の地域間の調整を図る国の指導という性格である「屋外広告物標準条例（案）（昭和39年）」
- ・ 現在は、**条例制定・改正時の参考資料**  
＜例＞〇〇地域においては、屋外広告物を表示し、または掲出物件を設置してはならない。（第3条）

#### 東京都屋外広告物条例（昭和24年）

- ・ 法の規定に基づく規制、都民の創意による自主的な規制その他必要な事項を定める
- ・ これまで計31回改正

## 2 屋外広告物を取り巻く環境変化

- 社会経済情勢の変化や技術の進歩など、屋外広告物を取り巻く状況が日々変化している

### 国際情勢

- ・ 国際的な都市間競争の激化
- ・ コロナ禍後のインバウンドの増加

### 社会情勢

- ・ 公民連携事業やエリアマネジメント活動等の活発化

### 自然災害等

- ・ 風水害の激甚化、地震の頻発化
- ・ 屋外広告物への延焼等による火災被害の拡大

### 技術進歩

- ・ デジタルサイネージの進化・巨大化
- ・ ドローン広告、ホログラム広告等新しい広告媒体の出現

## 2 屋外広告物を取り巻く環境変化

### 国際情勢



【札幌・すすきの】

観光名所となるような魅力的な景観創出に向けた屋外広告物の活用も有効

### 社会情勢



【イベント時の広告物】

エリアマネジメント活動など、民間主体による積極的な地域経営等が行い易くなる仕組みづくりが必要

⇒ 魅力的な景観創出やまちづくりの観点からの検討が重要

### 自然災害等



【看板の落下】

看板等の飛散防止に向けた点検強化の取組が求められている

### 技術進歩



【大型デジタルサイネージ】

民間企業による活用の動きが急速化。活用を適切に推進するためのルール作りが急務

⇒ 新技術広告物に関する検討や安全対策等は喫緊の課題

## 3 屋外広告物の規制と活用に向けた検討について

- 「都市づくりのグランドデザイン（平成29年）」について、東京を取り巻く社会経済情勢の変化や、「2050東京戦略～東京 もっとよくなる～（令和7年）」を踏まえ、本年3月『**「都市づくりのグランドデザイン」改定に向けた中間のまとめ**』を公表
- 都市づくりの目標の実現に向け強化する視点や、戦略のキーワードである「都市のプレゼンス向上」「東京を象徴する景観創出」などに向けて、屋外広告物行政の視点からの対応を進めるとともに、2050東京戦略で掲げる「世界で一番の都市・東京」に向けて、東京全体として美しく風格のある都市景観の形成を図るため、**屋外広告物の規制と活用に向けた検討に着手**する

### 【屋外広告物に関わる課題】

### 【対応の方向性】

#### 国際情勢

- ・ 国際的な都市間競争の激化
- ・ コロナ禍後のインバウンドの増加

- ・ 屋外広告物を**活用**した魅力的な景観の創出

#### 社会情勢

- ・ 公民連携事業やエリアマネジメント活動等の活発化

- ・ 屋外広告物の**活用**による民間のまちづくり活動等のさらなる推進

#### 自然災害等

- ・ 風水害の激甚化、地震の頻発化
- ・ 屋外広告物への延焼等による火災被害の拡大

- ・ 都市の安全・安心の確保の観点から屋外広告物の**規制**を検討

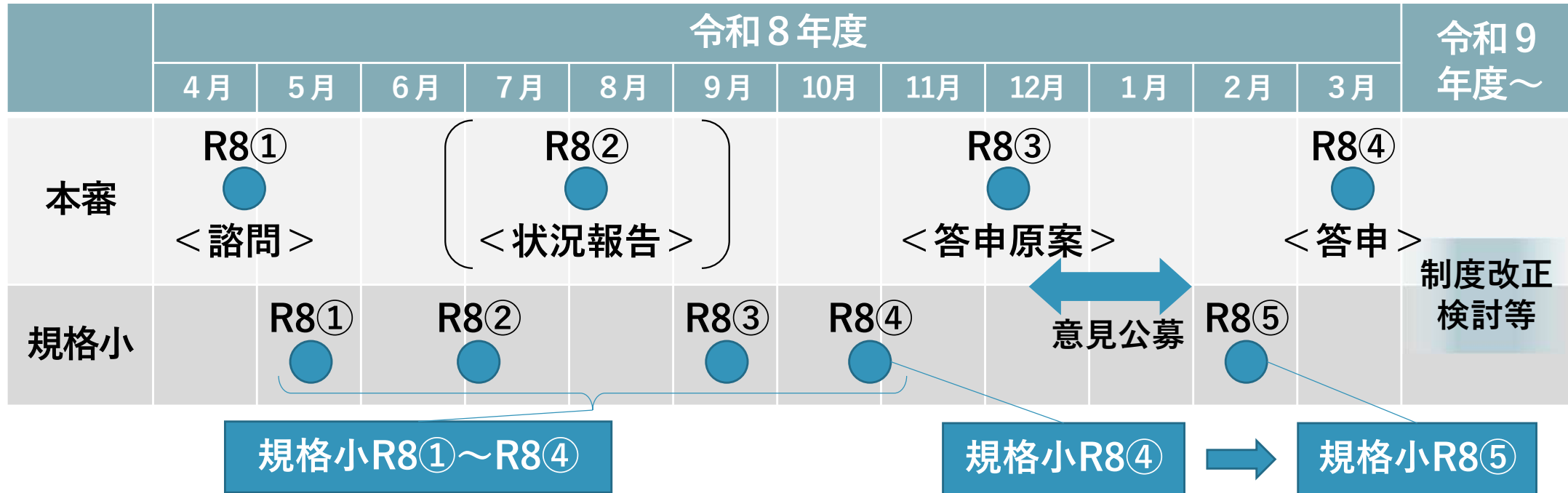
#### 技術進歩

- ・ デジタルサイネージの進化・巨大化
- ・ ドローン広告、ホログラム広告等新しい広告媒体の出現

- ・ 屋外広告物の**規制**及び**活用**の視点から必要なルール等を整理・明示

# 屋外広告物の規制と活用に向けた検討について（諮問）

## 4 今後のスケジュール（予定）について



- 以下のテーマを議論
  - ① 魅力的な景観創出に向けた制度
  - ② エリアマネジメント活動推進のための基準の明確化
  - ③ 屋外広告物の点検強化の促進
  - ④ 新技術を活用した屋外広告物のルール化
  - ⑤ その他、制度運用に関する議論
- テーマ別議論を踏まえた答申原案の検討

※夏をめどに本審へ検討状況を中間報告

- 意見公募対象となる答申原案の決定  
→ その後、本審を経て意見公募

- 本審における答申案の決定  
→ その後、本審にて答申

※ なお、喫緊の課題である新技術広告物に関する検討や屋外広告物の安全対策については、昨年度の規格小にて意見交換を実施

以下、参考資料

# 屋外広告物の規制と活用に向けた検討について（諮問）

## < 参考：主な条例改正等の概略 >

※条例改正には法改正・規則改正の内容を含む場合あり

- S24 ▶ **法 制定**  
条例制定：禁止区域等設定、規格設定、広告物審議会設置
- S32 ▶ **規則制定：車体利用広告（宣伝車・乗用車等）規格設定**
- S38 ▶ 法 改正：簡易除却制度導入（はり紙）
- S42 ▶ 規則改正：車体利用広告（路線バス、路面電車等）規格追加
- S48 ▶ 法 改正：簡易除却制度拡大（はり札、立看板）
- S51 ▶ 条例改正：屋外広告業届出制導入、  
屋外広告物講習会制度導入
- S56 ▶ **諮 問**：東京における屋外広告物の規制に関する  
方針及び基準について（S59答申）
- S61 ▶ **条例改正：広告協定地区制度導入、総表示面積規制導入、  
特例許可制度導入**
- S62 ▶ 規則改正：点検報告制度導入
- H8 ▶ 条例改正：屋外広告物管理者制度導入

- H11 ▶ **諮 問**：東京における車体利用広告規制のあり方について  
（H11中間答申・H13答申）
- H12 ▶ 規則改正：車体利用広告（路面バス・路面電車）規制緩和
- H13 ▶ 規則改正：車体利用広告（電車・観光バス）規制緩和、  
車体利用広告に係るデザイン自主審査制度導入
- H14 ▶ **諮 問**：東京における今後の広告物規制のあり方について  
（H15中間答申・H17答申）
- H15 ▶ 規則改正：車体利用広告（タクシー・ハイヤー）規制緩和  
条例改正：地域ルール（地区計画）導入、  
地下歩行者専用道の広告規制緩和
- H16 ▶ 法 改正：簡易除却制度拡大（広告旗）
- H17 ▶ **条例改正：広告主等の責務の導入、広告誘導地区制度導入、  
屋外広告業登録制導入、  
違反広告物対策強化（公表制度・過料新設等）、  
その他用語の定義・条例全体の再構成**
- H23 ▶ 規則改正：デザイン自主審査対象追加（広告宣伝車）、  
車体利用広告（高速道路を走行する路線バス等）  
規制緩和
- R2 ▶ 条例改正：プロジェクションマッピング活用地区制度創設
- R5 ▶ **諮 問**：広告宣伝車に対する規制について（R5答申）
- R6 ▶ 規則改正：都外ナンバー広告宣伝車への都条例適用
- R7 ▶ 規則改正：点検報告制度強化

## <参考：過去の大規模改正の例>

### 【昭和61年改正】

- **昭和56年2月18日：**  
「東京における屋外広告物の規制に関する方針及び基準について」諮問
  - ・ 都市の高密度化、建築物の高層化、広告媒体の多様化等の社会環境の変化に対応し、都市景観及び都市防災上の観点から全面的に見直しが必要のため
- **昭和59年5月8日：答申**
- **昭和61年10月6日：条例改正**
  - ・ 広告協定地区制度導入
  - ・ 総表示面積規制導入
  - ・ 特例許可制度導入 など

### 【平成17年改正】

- **平成14年10月8日：**  
「東京における今後の広告物規制のあり方について」諮問
  - ・ 広告技術の進歩、都市景観に関する都民の関心の高まり、都市再生の推進等、社会経済情勢が変化し、規制が実態とそぐわない面が現れているため
- **平成17年1月20日：答申**
- **平成17年3月31日：条例改正**
  - ・ 広告主等の責務の導入
  - ・ 屋外広告業登録制導入
  - ・ 違反広告物対策強化 など

# 屋外広告物の規制と活用に向けた検討について（諮問）

## <参考：環境変化に応じた直近での制度改正事例>

### ○ 令和2年3月改正

#### 「プロジェクションマッピング活用地区の創設等」

- ・ 東京2020大会機運醸成等のため、表示の際の基準となるガイドラインや、地域ルールにより緩和できる制度を整備



【天王洲での事例】

### ○ 令和6年3月改正

#### 「都外ナンバーの広告宣伝車規制」

- ・ 派手な色使いや過度な発光を伴う走行が問題となったためLEDビジョン搭載車を禁止する規制を都外ナンバーへ適用

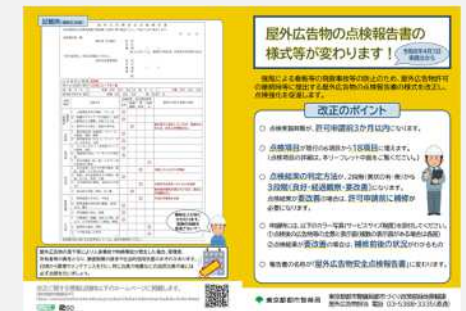


【過度な発光を伴う表示は禁止】

### ○ 令和7年3月改正

#### 「屋外広告物点検報告書の様式改正」 ※令和8年4月施行

- ・ 全国的な看板落下事故の増加を受け、一定規模の看板等の許可更新時の点検項目・内容を具体化



【制度周知リーフレット】